

中期標準化戦略（概要と目的）		専門委員会・AG名	BSG専門委員会	1 / 4
企画戦略委員	山田 徹（NEC）	登録委員数	6	
正副委員長 リーダー・サブ	委員長：谷川 和則（NEC） / 副委員長：荒木 則幸（NTT）			
活動の目的・意義	総務省情報通信政策課より2014年6月に公表された「スマート・ジャパンICT戦略」では、「ICT国際競争力を強化し国際展開を通じた国際貢献を目指すこと」が謳われており、2020年までに現在の海外売上高の約5倍の17.5兆円とする目標が掲げられている。また、総務省情報通信審議会が2012年7月にとりまとめた答申「情報通信分野における標準化政策の在り方」では、今後我が国の企業がICTを使った製品・サービスを新興国に展開を図る際、相手国が一定の品質が確保されたシステム等を調達するにあたりICTの国際標準を持つ意味が極めて大きいことが指摘されている。昨今の情勢を踏まえると、今後ますます新興国における市場展開が重要となることから、新興国と連携・協調した国際標準化活動の必要性が高まっている。 また世界的なトレンドとして標準をビジネスにつなげていくため、従来の性能・機能・方式の標準でなく、社会課題を解決するシステム・サービス・ソリューション丸ごとの標準が求められている状況がある。日本企業のグローバルなビジネス展開の上でこのトレンドを踏まえた戦略が必要である。			
活動する上での課題	新規プロジェクトの創出 / 国外パートナー・人脈の維持、開拓			
関連のSDGsゴール	  			
標準化方針	[アップストリーム活動] ・ASTAP文書（APT Report）として登録された「ICTソリューションハンドブック」は、今後も途上国の要望を盛り込みながら追加改訂提案を継続し、利用標準としてのハンドブックの完成度・有用性を高めることに貢献していく。 ・アジア各国での実証実験結果をICT分野別に体系化し、実施ノウハウを共有化する導入ガイドラインを策定し、各国のICTソリューション導入を支援する。 [TTCドキュメント制定] ・上記「ICTソリューションハンドブック」はTTC技術レポート（TR）として文書化し、新興国ビジネス開拓に向けた利用標準として活用する。			
国内外 標準化団体動向	世界電気通信標準化会議（WTSA-12）において、Resolution 44 “Bridging the standardization gap between developing and developed countries” の改訂が議論され、ITU-T各SGに対して途上国が置かれた特有な状況に配慮して標準化を適切に進めるよう指示することが新たに盛り込まれた。さらにWTSA-16（2016年10月）でも本決議の継続が決定された。これは今後標準策定にあたって途上国での利用を考慮した視点や切り口が求められていることを意味している。			
用語： 1: ASTAP: Asia-Pacific Telecommunity Standardization Program Forum 2: EG BSG: Expert Group on Bridging the Standardization Gap 3: SHAREミーティング: “Success & Happiness by Activating Regional Economy” Meeting アジア各国（インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）の通信主管庁・大学関係者等との連絡会組織。各国にて農業・水産業・教育・医療・環境等に関するICTソリューション導入パイロットプロジェクト等を実施				



SHARE solution model through Broadband Network

SHARE
Success & Happiness by Activating Regional Economy

Local Community

Sensor Network



Usability

- Simple
- enjoyable
- fancied by children

KnowledgeCenter University

Experts for

- Health
- Agriculture
- Education
- Environment



R&D center



Data

Knowledge

Solution

Language Grid

Broadband Network

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名

BSG専門委員会

3 / 4

重点取り組みと成果	① 日本のICT技術の新興国普及を目指すため、ASTAP EG BSGに参画し、「ICTソリューションハンドブック」のフォロー・改定を継続 改定内容はTTC技術レポートに反映 → 継続中 ② 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理 → 実行中 異業種間データを組合せた新産業創生に向け、新興国の若手研究者によるコンペ（アイデアソン）を開催 → 継続中 ③ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討 → 継続中 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークスホルダー育成の推進を継続 → マレーシアとAPT ICTプロジェクトに応募 ⑤ アジアで共通的に取り組むべき社会課題の解決に向けた新たなICTソリューションの検討と推進 → 検討継続中			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
①アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件 ASTAP EG BSG（2020年5月予定） ・ICTソリューションハンドブック改定 ・その他	0件 ASTAPは総会とWG会合のみ開催 EG会合未開催となったため提出はなかった （ドラフトは完成）	
	外部会合への 参加・連携状況	・ASTAP：（2020年5月予定） ・SHAREミーティング：1回 ・他国標準化団体との合同ワークショップ （マレーシアMTSFB、タイNBTC等） ・アイデアソン開催（タイ or ベトナム or 他）	・11月開催となったASTAP-32 リモート会合に参加 ・SHAREミーティングはリモートにて3月に開催予定 ・他国標準化団体との合同ワークショップは開催見合わせ ・タイでアイデアソン（リモート）開催を準備中	
②ドキュメント作成 国内標準仕様書レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定	0件 / 0件 / 0件 - ICTソリューションハンドブック改定はASTAP REPORT改版に合わせる	
③ダウンストリーム	数	0件	0件	
④プロモーション 普及推進	セミナー	・TTCセミナー 1回	1回（予定） - SHAREミーティングに合わせ開催予定	
	記事投稿、講演会	・TTCレポート記事：イベント毎に報告	1件 - タイの農村3か所とリモート講演会を開催	

中期標準化戦略（2021年度重点取り組みと活動予定）		専門委員会・AG名	BSG専門委員会	4 / 4
新テーマ及び 重点取り組み	① 日本のICT技術の新興国普及を目指すため、ASTAP EG BSGに参画し、「ICTソリューションハンドブック」のフォロー、改定を継続 改定内容はTTC技術レポートに反映 ② 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理 異業種間データを組合せた新産業創生に向け、新興国の若手研究者によるコンペ（アイデアソン）を開催 ③ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討継続 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークスホルダー育成の推進を継続 ⑤ アジアで共通的に取り組むべき社会課題の解決に向けた新たなICTソリューションの検討と推進			
関連する専門委員会とその内容	特にないが、新規プロジェクトの内容により個別に相談する。			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
①アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件 ASTAP EG BSG（2021年6月予定） ・ICTソリューションハンドブック改定 ・その他		
	外部会合への 参加・連携状況	・ASTAP： 1回（2021年6月予定） ・SHAREミーティング： 1回 ・他国標準化団体との合同ワークショップ （マレーシアMTSFB、タイNBTC等） ・アイデアソン開催		
②ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定		
③ダウンストリーム	数	0件		
④プロモーション 普及推進	セミナー	1回 TTCセミナー		
	記事投稿、講演会	・TTCレポート記事： イベント毎に報告		